

東北大学 Networking Evening

東北大学ではオープンイノベーション戦略機構の創設を契機に、創発のための企業と大学の交流の場として、「東北大学 Networking Evening」を開催しています。

今回は、本学に新設された課題解決型研究開発実証フィールド オープン・ベット・ラボ（OBL）を含めたベッドサイドソリューションプログラムに関する産業界向けの紹介・意見交換を企画しました。デジタルトランスフォーメーションを視野に入れている衣食住、人モノ情報をつなぐロジスティクス、美しくなりたい、自分らしく生きたいことにコミットする自己実現事業の開拓を意図する企業を念頭に置いております。

日時

2020年12月17日(木)
18:00-19:30

演題

デザイン思考も用いた医療・ヘルスケア現場観察
～47社・1,500名のみなさんとの協働から～
デジタルトランスフォーメーションに伴い、現場からの一次情報の重要性はさらに増す

講師

中川敦寛

東北大学病院臨床研究推進センター 特任教授 バイオデザイン部門長
東北大学病院 病院長特別補佐（企業アライアンス テクノロジー）
東北大学病院脳神経外科 / 高度救命救急センター
東邦大学客員教授

会場

オンライン開催

事前
登録制

<https://oi.tohoku.ac.jp/application/index.html?event=ne11>
から申込をお願いいたします。
※参加費は無料です。

受付

お申込み多数の場合、アクセス数との関係でご参加いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。





TOHOKU
UNIVERSITY

デザイン思考も用いた医療・ヘルスケア現場観察

～47社・1,500名のみなさんとの協働から～

デジタルトランスフォーメーションに伴い、現場からの一次情報の重要性はさらに増す

グローバル化とデジタルトランスフォーメーションを含めた技術革新の急速な進展、それに伴う社会や生活の急激な変化により、人々は多様な価値観とライフスタイルをもつようになりました。ニーズが複雑化したことで、そもそもユーザーが何に困っているかを予測することが難しくなり、従来のマーケティングでは戦略をたてられなくなりました。

デザイン思考は、人々のニーズを出発点とし、開発初期段階から技術、ビジネスを成功させるための要件を含めた事業化の視点も検証しつつ、問題の解決とイノベーションを実現するアプローチが特徴です。

東北大学病院では2014年より47社、1,500名の開発研究者を医療現場に受け入れ、デザイン思考も取り入れながら、解決すべき課題を探索してきました。2020年からはコンセプト、プロトタイプを病院内で医療プロフェッショナルとともに検証する場として課題解決型実証フィールド オープン・ベッド・ラボ OBLを、イノベーターとイノベーターを支援するスタッフをプロジェクトベースで育成する未来医療人材育成寄付部門を設立しました。

デジタルの世界では、ますます、“解決すべき課題”の設定と一次情報に基づく“的確な情報”のインプットが事業化の質を左右します。また、今回のパンデミックに代表されるように急激な変化を含めた“視界不良時代”において、変化への適応速度が圧倒的な差を生む中ではアライアンスの構築もカギとなります。

これまで得られた知見、デザイン思考を用いたイノベーション事例を紹介しながら、アカデミアをハブとしたアライアンス構築だからこそ得られる価値創出まで含めて、いかにして医療関連ビジネス創出につなげるかについて考察します。

コンテンツ

- **はじめに**：谷津雄之（東北大学オープンイノベーション戦略機構 特任教授）
- **発表**：中川敦寛（東北大学病院臨床研究推進センター 特任教授 バイオデザイン部門長）
- **パネルディスカッション**：中川、パネリスト 5名、参加者

お問い合わせ

- 東北大学オープンイノベーション戦略機構
- 担当： 谷津、谷口、大畠、田谷
- Email： oi-event@grp.tohoku.ac.jp



主催：東北大学オープンイノベーション戦略機構

<https://oi.tohoku.ac.jp/>

2/3

コンテンツ

18:00～	はじめに：谷津雄之（東北大学 OI戦略機構 特任教授）
18:05～	プレゼン：中川敦寛（東北大学病院臨床研究推進センター 特任教授 バイオデザイン部門長）
18:50～	パネルディスカッション：参加者、中川、パネリスト 5名

パネリスト

大田千晴（ビジネスリエゾン、東北大学病院小児科）

井汲沙織（ビジネスリエゾン、東北大学病院麻酔科）

市ノ渡真史（フェロー、東北大学病院ベッドサイドソリューションプログラム
株式会社アインファーマシーズ）

門脇水樹（インターン、東北大学病院ベッドサイドソリューションプログラム
カリフォルニア大学サンディエゴ校 データサイエンス学科在籍）

佐々木亮太（インターン、東北大学病院ベッドサイドソリューションプログラム）

中川敦寛

東北大学病院臨床研究推進センター 特任教授 バイオデザイン部門長

東北大学病院 病院長特別補佐（企業アライアンス テクノロジー）

東北大学病院脳神経外科 / 高度救命救急センター

東邦大学客員教授



【略歴】

1998年 東北大学医学部卒業東北大学脳神経外科入局

2001年 東北大学大学院（東北大学流体科学研究所高山研究室）

2004年 東北大学大学院卒業（医学博士）

2006年 東北大学病院脳神経外科/高度救命救急センター（助教）

2008年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校神経外科/ 脳脊髄外傷センター
（神経外傷クリニカルフェロー）

2013年 東北大学病院臨床研究推進センターバイオデザイン部門（副部門長）

2015年 スタンフォード大学バイオデザイン グローバルファカルティ・ジャパンバイオデザイン共同 ディレクター

2016年 東北大学大学院医学系研究科神経病態制御学分野講師

2017年 東北大学病院臨床研究推進センター特任准教授

2019年 東北大学病院臨床研究推進センター特任教授/病院長特別補佐（産学連携・企業アライアンス・テクノロジー）（現職）

2020年 東邦大学医学部客員教授

現在、100社を超える企業との連携を行なっている。

学生、若手医師がプロジェクトをコミットできる環境構築にもつとめている。